

“看取り・新時代”

安全は科学・安心は接遇・看取りは文化

在宅医療を知っていますか？
家で最期まで療養したい人に

第5回 平成28年7月16日(土)

午後1時～5時

於) 東京大学伊藤謝恩ホール

テーマ

在宅医療の中のグリーンケア。
家族を看取ったあと、家族の再生
(レジリエンス) に必要なことは？

本日のタイムテーブル

13:00 第一部開始

開会の挨拶・

事例紹介

・一般社団法人SCN 理事長

・桜台訪問看護ST

高木慶子先生の講義

15:30 第二部開始

上別府圭子先生の講義

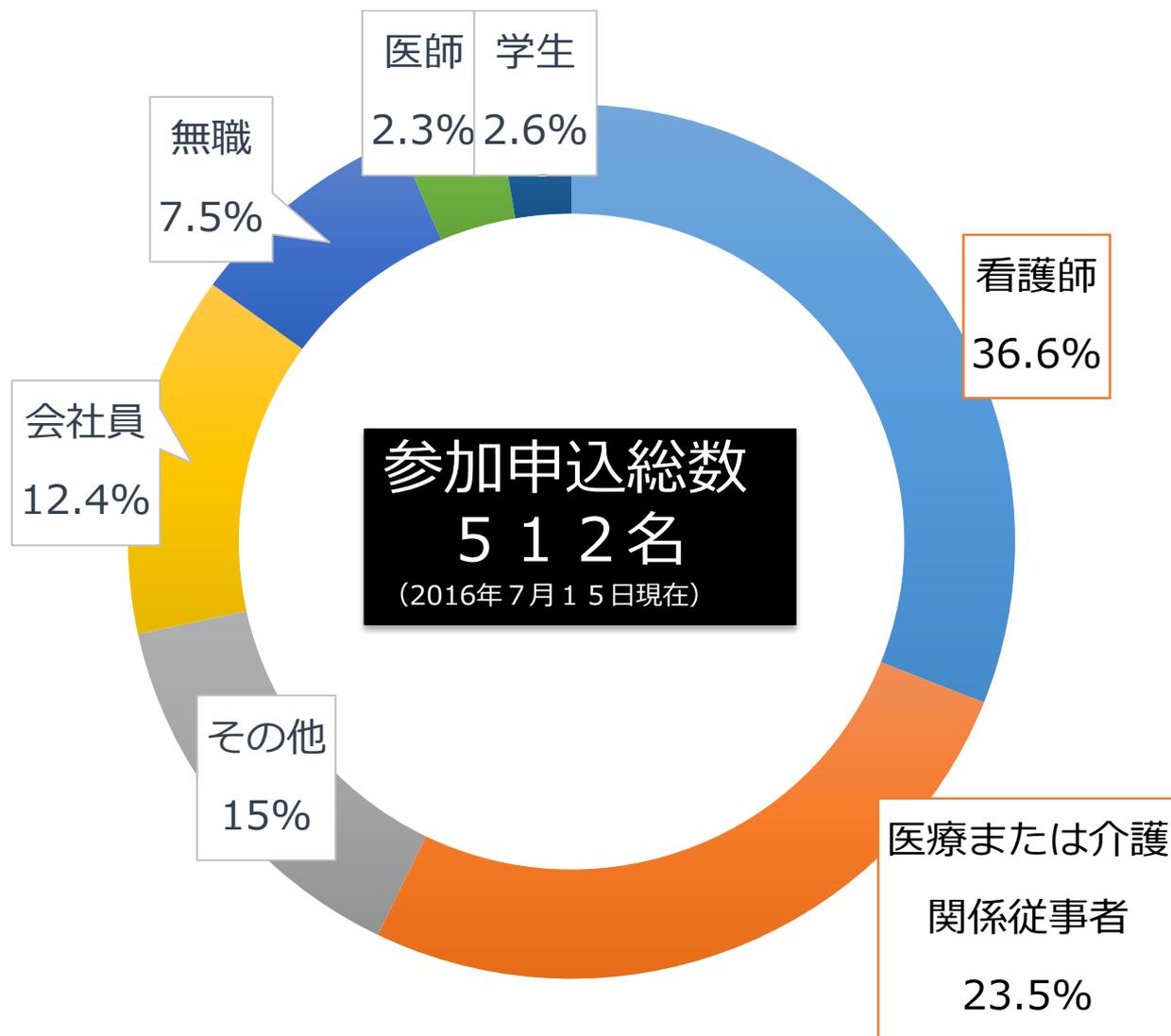
17:00 閉会の挨拶 勉強会終了

協力 東京大学医学部附属病院老年病科
東京大学大学院医学系研究科健康科学・
看護学専攻 家族看護学分野
東京大学医学部附属病院看護部

助成 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

後援 公益社団法人 全国有料老人ホーム協会
一般財団法人 日本尊厳死協会
公益財団法人 日本訪問看護財団
一般社団法人 全国特定施設事業者協議会
一般社団法人 全国訪問看護事業協会
公益社団法人 日本看護協会
日本ホームヘルパー協会
公益社団法人 東京都栄養士会
公益社団法人 東京都歯科衛生士会
一般社団法人 日本女性薬局経営者の会

ご参加の皆様の内訳



本日参加の皆様職種ご紹介

看護師・非常勤看護師・外来看護師・訪問看護師・訪問看護ステーション管理者・緩和ケア看護師・心身障害児総合療育看護師・ガン専門看護師・介護施設看護師・看護師長・介護福祉士・ケアマネージャー・居宅介護支援専門員・栄養士・管理栄養士・訪問ヘルパー・歯科衛生士・歯科医師・保健師・鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師・薬剤師・調剤薬局薬剤師・医師・上智大学グリーンケアラー・看取り士・エンディングサポート協会・アロマテラピスト・フラワーアレンジ・ベネッセ介護相談員・医局補佐員病院事務クラーク・生活クラブ・生協理事・介護生活相談員・バースドゥーラ・コンプライアンス事務局・模擬患者つつじの会・医学部学生・看護学部学生・宗教家・CSRプロジェクト・大学教授・会社人事部・傾聴ボランティア・医療ジャーナリスト・出版・行政書士・基幹型地域包括支援センター管理者・小学校教師・会社代表・

市民という名前のあらゆるプロの方々。

順不同

本日の配布資料

- 1 看取り・新時代 プログラム
- 2 本日の講演レジュメ資料
- 3 アンケート
 - ・ アンケートにご協力ください。
- 5 その他
 - ・ ケア職のための看取り体験シェア・サロンのご案内
 - ・ セラピューティックケア、ワークショップのご案内

ロビーの展示資料はご自由にお取りください。

ご挨拶

近藤和子

みんなのMITORI・研究会代表

マザーリング&ライフマネジメント研究所 所長

東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野客員講師



【プロフィール】

1969年 東京大学医学部附属看護学校卒業・看護師

1982年 マザーリング研究所設立

1998年～継続東京大学医学部家族看護教室客員講師

2006年 東京大学医学部附属病院

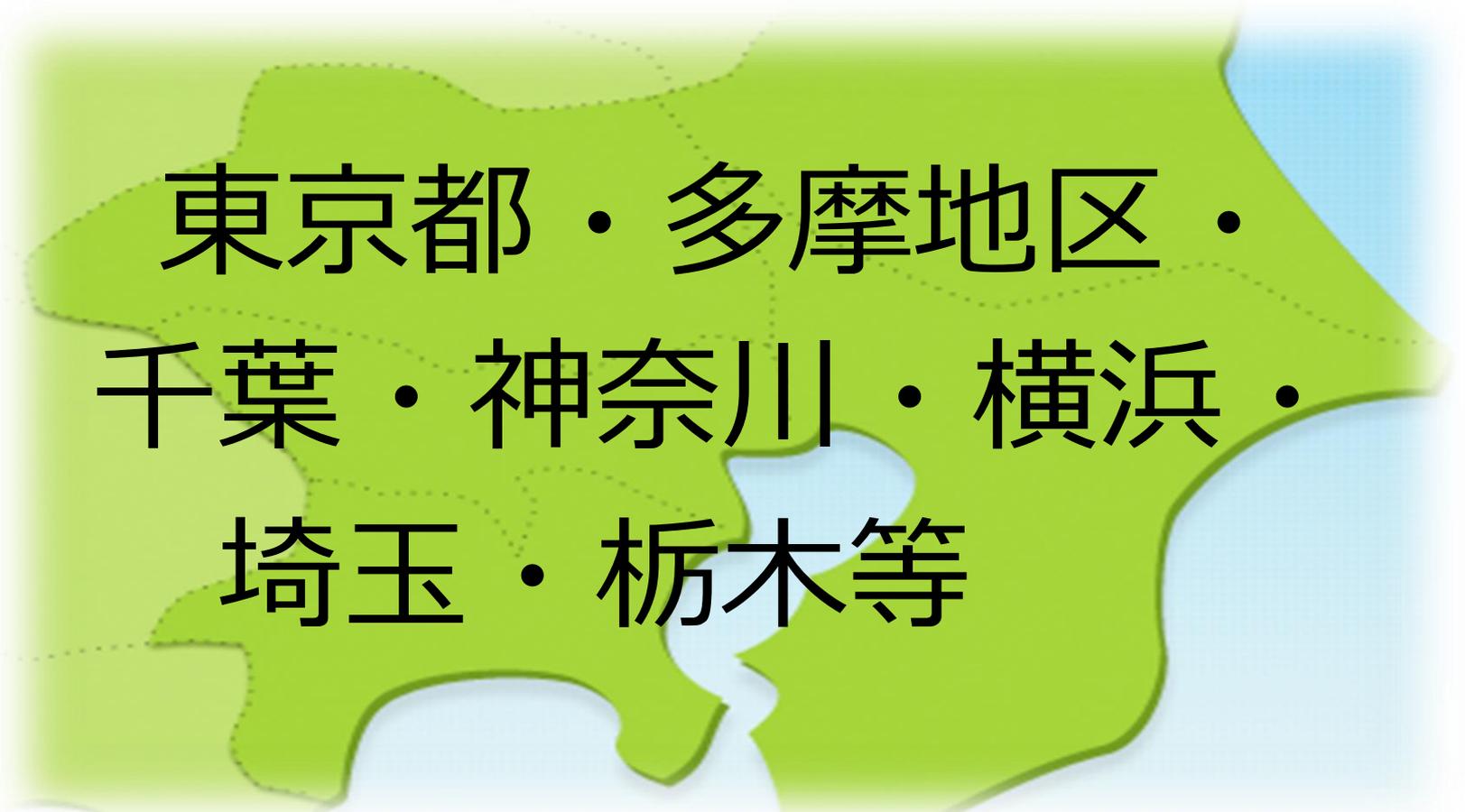
「接遇向上センター」顧問(～2010)

2009年 英国赤十字セラピューティックケア・

プラクショナー資格取得

2015年 みんなのMITORI・研究会 代表

2025年問題は首都圏の課題



東京都・多摩地区・
千葉・神奈川・横浜・
埼玉・栃木等

課題は**連携**のノウハウ・経験値

多職種間・連携、ご家族との
コミュニケーション、**接遇**



間合いの取り方が難しい

鍵は

自己開示

自己表現

在宅医療に必要な 3本の杭

リビング・ウィル
老年医学・小児医学
家族看護学

= 第1回目のテーマでした。

聞きなれない言葉かも・・・

「チャプレン？」

「ドゥーラ？」

= 第2回目のテーマでした。

聞きなれない言葉かも・・・

尊厳死 ・ 自然死 ・ 寿命死
平穏死

= 第3回のテーマでした。

聞き慣れない言葉かも・・・

地域包括医療 在宅医療・在宅看取り

第4回目のテーマでした。

聞き慣れない 新しい言葉かも・・・

グリーンケア
グリーンワーク
グリーンケアラー
レジリエンス

本日のテーマです。

そして、こんな言葉も

予期的危機介入

看護師のミッションです。

そして、こんな言葉も

T ・ L ・ C

(ティーエルシー = テンダー・ラビング・ケア)
医療的介入ではなく、優しい生活ケア

衣服・食事・住まいの環境・香り・花・音楽
そして、優しい言葉かけ・触れ合いなどで

癒すこと

今日は、さらに、こんな言葉を

- QOL: クオリティ・オブ・ライフ
 - QOD: クオリティ・オブ・デス

新しい言葉が、
新しい関係性が、
新しい解決策を
もたらすかもしれません。

おひとりおひとりの
大切な選択を
サポート
するために

《高木慶子先生について》



上智大学グリーンケア研究所特任所長

熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。

現在、上智大学特任教授、上智大学グリーンケア研究所所長。「生と死を考える会全国協議会」会長、「兵庫・生と死を考える会」会長。援助修道会会員。30年来、ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々の心のケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講演会で活躍中。著書として、『死と向き合う瞬間—ターミナル・ケアの現場から』(学習研究社)、『悲しんでいい—大震災』(NHK出版)、『喪失体験と悲嘆—阪神淡路大震災で子どもと死別した34人の母親の言葉』(医学書院)、『それでも 人は生かされている』(PHP)など多数。

《上別府圭子先生について》



東京大学院医学系研究科健康科学・
看護学専攻 家族看護学分野教授
看護師 保健師 保健学博士

東京大学医学部保健学科卒業、同医学系研究科精神衛生学の博士課程に学んだ後、虎の門病院臨床心理室、財団法人日本児童手当協会こどもの城小児保健部、兵庫県立女性センター、東京慈恵会医科大学附属病院精神科を歴任、女性と家族の心身の健康問題に実践現場から取り組む。2001年日本橋学館大学人文経営学部助教授を経て、2002年より東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻 家族看護学分野助(准)教授、2012年より現職。2003年より東大家族ケア研究会を主宰し、開催した家族ケア症例研究会は50回を超えている。

日本看護系大学協議会監事 日本家族看護学会理事 日本精神衛生会理事

スタンプラリー

「在宅医療の勉強会」
スタンプラリー

みんなのMITORI・研究会が主催する「在宅医療の勉強会」に参加され、所定の勉強会全6回を受講された方に、本研究会が発行する修了証をお渡し致します。



第1回 2015年11月14日(土)
「生きとびで考える生・老・病・死とリビングウィル」

第2回 2015年2月13日(土)
「家族に優しく寄り添うケア(精神的支援)と効果とは？」

第3回 2015年5月29日(土)
「それって、1日の介護でどの期間。平穏死という選択」

第4回 2015年5月29日(土)
「事例で語る、地域包括ケアシステムの実際」

第5回 2016年7月16日(土)
「在宅医療の日のグループケア、家族を看取ったあと、家族の再生(レジリエンス)に必要なことは？」

第6回 2016年9月3日(土)
「今、地域・在宅医療が面白い(面白い)理由」

みんなのMITORI研究会 代表 近藤和子
協力: 東京大学大学院医学系研究科医療看護学分野
科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
エビデンス・ケアにおける医療看護の持続可能なケアの開設と普及化
(平成26年～28年度 研究課題番号: 26670973 代表 上別府幸子)

氏名

第1回勉強会にご参加いただいた方に配布しております。

休憩時間にロビーにてシールをお貼りください。

ケアする人をケアする応援花

ケア(care)する人(for)をケア(carers)する樹(気)を
育てましょう！

～ケアする人(ケアラー)へのエールをこめて～

演台の横にあるお花はケアする人を応援する花です。

樹を多職種のケアラーズに見立て、勉強会の全6回をとおして、
CAREする人への応援の花で飾り、掲げます。

この樹で、まず、ケア職種の多数の存在を認め、理解し尊重する
エールを花でおくりたいと思います！

詳細はロビーにおいてあるチラシ・又は下記HPの「最新の活動予定」
をご覧ください <http://mothering-trino.wix.com/mothering>

